

法人本部事業報告書

1 法人の目的事業

この法人は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援するために、次の社会福祉事業を行うことを目的とする。

<社会福祉事業>

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営 南風・第二南風・花菜風

(2) 二種社会福祉事業

(イ) 老人デイサービスセンターの経営 デイサービスセンター南風
第2 デイサービスセンター南風

(ロ) 老人短期入所事業の経営 短期入所生活介護南風

<公益を目的とする事業>

(1) 居宅介護支援の事業 居宅介護支援事業所南風

(2) 地域包括支援センターの事業 地域包括支援センター三和

(3) 介護予防支援の事業

<地域における公益な取組>

(1) 地域介護予防活動支援事業「寺子屋しんづ」の運営（民児協との協働）

(2) 介護予防教室「^{たのしんで}楽心出」の運営支援、体操の指導及び会場提供

(3) 南風バンドによる出前講演と音楽、地域住民に対する福祉教育

(4) 実習生の受入れ（地域住民に対する福祉教育）

(5) 講師派遣

2 理事会・評議員会の開催

令和7年度における法人の業務を審議・決定するために、次のとおり評議員会及び理事会を開催した。

評議員・評議員会 法人運営に係る重要事項の議決機関

理事・理事会 法人の業務執行の決定機関

監事 理事の職務執行及び法人の財産状況を監査する機関

<理事会>

第1回理事会

(1) 開催日 令和7年5月28日(水)

(2) 出席者 理事5名、監事2名

(3) 議題

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第2号報告 辞任に伴う評議員選任の結果について

第1号議案 令和6年度事業報告及び令和6年度計算関係書類並びに財産目録の承認について

第2号議案 次期役員候補について

第3号議案 評議員選任・解任委員候補について

第4号議案 評議員選任・解任委員会への評議員候補の推薦について

第5号議案 定時評議員会の召集について

第2回理事会（決議の省略）

（1）開催日 令和7年6月13日（金）

（2）議題

第1号議案 次期理事長の選任について

第2号議案 業務執行理事の選任について

第3回理事会（決議の省略）

（1）開催日 令和7年10月28日（火）

（2）議題

第1号議案 給食に係る経費削減及び献立改善に係る提供方法の見直しについて

第2号議案 完全調理済み冷凍食品の取扱業者クックデリとの購入契約について

第4回理事会

（1）開催日 令和7年12月10日（水）

（2）出席者 理事7名、監事2名

（3）議題

第1号報告 理事長の職務執行状況報告

第2号報告 令和7年度社会福祉施設等の指導監査と結果について

第3号報告 令和7年度運営指導と結果について

第4号報告 令和7年度事業の中間報告について

第1号議案 令和7年度第1次補正収支予算書について

第2号議案 就業規則の一部改訂について

第3号議案 令和8年度業務委託契約について

第4号議案 借地借家の次年度契約更新について

第5号議案 嘱託医契約書等の業務委託契約更新について

第6号議案 南風エレベーターの一部リニューアル工事について

第7号議案 臨時評議員会の召集について

第5回理事会

（1）開催日 令和8年3月11日（水）

（2）出席者 理事7名 監事2名

（3）議題

第1号報告 理事長の職務執行状況の報告

- 第2号報告 令和7年度運営指導の結果について
- 第1号議案 令和7年度第2次補正収支予算について
- 第2号議案 令和8年度事業計画について
- 第3号議案 令和8年度資金収支予算について
- 第4号議案 令和8年度設備事業計画について
- 第5号議案 クレジットカード取扱規程について
- 第6号議案 経理規程の一部改訂について
- 第7号議案 辞任に伴う評議員選任・解任委員会の開催について
- 第8号議案 臨時評議員会の招集について

<評議員会>

第1回定時評議員会

- (1)開催日 令和7年6月13日(金)
- (2)出席者 評議員8名 監事2名
- (3)議題
 - 第1号報告 理事長の職務執行状況について
 - 第2号報告 令和6年度事業報告について
 - 第1号議案 令和6年度計算書類及び財産目録の承認について
 - 第2号議案 次期役員の選任について
 - その他事項 評議員選任・解任委員会による評議員選任結果について

第2回評議員会（決議の省略）

- (1)開催日 令和7年11月5日(水)
- (2)決議事項
 - 第1号議案 給食に係る経費削減及び献立改善に係る提供方法の見直しについて
 - 第2号議案 完全調理済み冷凍食品の取扱業者クックデリとの購入契約について

第3回評議員会

- (3)開催日 令和7年12月25日(木)
- (4)出席者 評議員8名 監事2名
- (5)決議事項
 - 第1号報告 理事長の職務執行状況の報告
 - 第2号報告 令和7年度社会福祉施設等の指導監査結果について
 - 第3号報告 令和7年度事業の中間報告について
 - 第1号議案 令和7年度第1次補正収支予算の承認について
 - 第2号議案 就業規則の一部改正について
 - 第3号議案 令和8年度業務委託契約について
 - 第4号議案 借地の次年度更新について

第5号議案 嘱託医の業務委託契約の更新について

第6号議案 南風エレベーターの一部リニューアル工事について

第4回評議員会

(1)開催日 令和7年3月19日(木)

(2)出席者 評議員7名 監事2名

(3)議題

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第2号報告 令和6年度社会福祉施設等の指導監査の結果について

第1号議案 令和6年度第2次補正収支予算について

第2号議案 令和7年度事業計画について

第3号議案 令和7年度資金収支予算について

第4号議案 令和7年度設備事業計画について

第5号議案 就業規則の改定について

第5号議案 辞任に伴う評議員候補について

2 入職者・退職者の状況（法人全体）

	採用者数 (人)			離職者数 (人)		
	正職員	契約職員	合計	正職員	契約職員	合計
介護職員	12 南・二・花・2デ	4 南・二・2デ	16	9 南・二・花	7 南・二・デ・2デ	16
看護職員	2 二	1 南	3	2 南・花	2 南・花	4
機能訓練指導員	1 2デ		1			
生活相談員						
介護支援専門員				1 居		1
栄養士	2 南・二		2			
事務員						
その他		2 二	2	1 包	6 南・二・花	7
合計	17	7	24	13	15	28

3 年次有給休暇平均取得日数（法人全体）

事業所名		南風			第二南風		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規	386	232	60%	341	230	67%
	契約	92	64	70%	129	120	93%
看護職員	正規	60	41	68%	51	40	78%
	契約	25	19	76%	11	10	91%

その他	正規	152	121	80%	125	78	62%
	契約	135	108	80%	109	83	76%
事業所		花菜風			デイサービス		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規	228	166	73%	91	77	85%
	契約	35	35	100%	167	155	93%
看護職員	正規	46	36	78%	40	40	100%
	契約	0	0	0%	20	20	100%
その他	正規	40	36	90%	60	51	85%
	契約	17	16	94%	14	11	79%
事業所		第2 デイサービス			居宅介護支援		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規	2	0	0%			
	契約	167	145	87%			
看護職員	正規	40	39	98%			
	契約	0	0	0%			
その他	正規	90	78	87%	174	148	85%
	契約	40	40	100%	22	17	77%
事業所		包括支援			全体		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規				1048	705	67%
	契約				590	519	88%
看護職員	正規				237	196	83%
	契約				56	49	88%
その他	正規	109	89	82%	750	601	80%
	契約				337	275	82%

4. 残業時間年間統計

		南風					第二南風				
職種	種類	年合計	人数	月平均	最大	月平均	年合計	人数	月平均	最大	月平均
介護職員	正規	1,277.0	24	4.2	167.5	13.9	944.5	24	3.2	145.7	12.1
	契約	33.5	9	0.3	25.0	2.0	46.2	11	0.3	28.2	2.3
看護職員	正規	247.5	4	5.1	118.0	9.8	298.5	3	8.2	146.7	12.2
	契約	29.7	2	1.2	26.2	2.1	26.2	1	2.1	26.2	2.1
相談員	正規	149.7	1	12.4	149.7	12.4	6.5	1	0.5	6.5	0.5

機能訓練	正規	91.2	2	3.8	79.0	6.5	1.5	1	0.1	1.5	0.1
栄養士	正規	134.0	1	11.1	134.0	11.1	106.7	2	4.45	58.0	4.8
事務	正規	63.2	3	1.7	56.2	4.6	0	1	0	0	0
		花菜風									
職種	種類	合計	人数	月平均	最大	月平均					
介護職員	正規	599.2	14	3.5	114.2	9.5					
	契約	0	2	0	0	0					
看護職員	正規	456.0	3	12.6	312.0	26.0					
	契約	0	0	0	0	0					
相談員	正規	158.2	1	13.1	158.2	13.1					
機能訓練	正規	60.0	1	5.0	60.0	5.0					
		デイ					第2デイ				
職種	種類	合計	人数	月平均	最大	月平均	合計	人数	月平均	最大	月平均
介護職員	正規	141.7	5	2.3	33.7	2.8	18.2	1	1.5	18.2	1.5
	契約	173.7	11	1.3	58.7	4.9	13.7	10	0.1	8.5	0.7
看護職員	正規	122.7	2	5.1	64.0	5.3	59.2	2	2.4	56.0	4.6
	契約	16.75	1	1.4	16.7	1.4	0	0	0	0	0
相談員	正規	112.2	1	9.3	112.2	9.3	522	2	21.7	391.5	32.6
機能訓練	正規	126.0	1	10.5	126.0	10.5	224.7	3	6.2	102.0	8.5
	契約	0	0	0	0	0	3.0	1	0.2	3.0	0.2
		居宅					包括				
職種	種類	合計	人数	月平均	最大	月平均	合計	人数	月平均	最大	月平均
ケアマネ	正規	302.7	7	3.6	136.2	11.3	217.2	5	3.6	68.0	5.6
	契約	71.7	2	2.9	67	5.5	0	0	0	0	0
事務他	正規	42.7	1	3.5	42.7	3.5					

5 育児休業取得者の割合

(1) 令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間に在職中に出産した女性職員は居りませんでした。

(2) 男性職員1名が1か月程度の育児休業を取得しています。

6 労働災害の発生状況

- 令和7年度は腰痛・転倒などの「動作の反動・無理な動作」により、受診3件、休業3日以内1件（有給）、同4日以上2件（内1件有給）の労働災害が発生しました。

7 寄附の状況

(1) 寄付金

受入日	寄附者氏名	種類	金額	使途目的
R7. 8. 16	岡部豊彦	寄付金	30,000 円	法人
R8. 1. 21	河合良浩	寄付金	30,000 円	法人
R8. 2. 18	小楠隆弘	寄付金	1,000,000 円	法人
R8. 3. 14	パワー浜松ロータリークラブ	寄付金	18,862 円	寺子屋

(2) 寄附物品

受入日	寄附者氏名	品目	使途目的
R8. 3. 19	公益社団法人 24 時間テレビチャリティー委員会	福祉車両 1 台	デイ

8 法定研修(委員会)

日時	内容	講師（発表者）
5 月	感染 BCP 研修（感染基礎／BCP とは？）	感染委員会
6 月	身体拘束（ドラッグロックセーフティネット） 虐待研修（虐待防止）	身体拘束 虐待防止委員会
	防災 BCP 研修（座学）	防災委員会
7 月	感染 BCP 訓練（感染 PCP 机上訓練）	感染委員会
8 月	事故防止研修（危険箇所点検）	事故防止委員会
	防災 BCP 訓練	防災委員会
10 月	感染 BCP 研修（衛星講習）	感染委員会
11 月	身体拘束（スピーチロック） 虐待研修（虐待予防）	身体拘束 虐待防止委員会
	管理者向けハラスメント研修	ハラスメント委員会
12 月	感染 BCP 訓練（ガウンテクニック等）	感染委員会
1 月	事故防止研修（苦情）	事故防止員会
	防災 BCP 訓練	防災委員会
2 月	一般職員向けハラスメント研修	ハラスメント委員会
3 月	防災 BCP 研修	防災委員会

9 その他（松市生活支援居場所事業 受託事業「寺子屋しんづ」報告書）

□ 事業の概要

開始時期	令和 7 年 4 月～(令和 2 年 4 月～令和 7 年 3 月(旧学習支援事業))
対象年齢	小学 4 年生～中学 3 年生（特例小学 1 年生～）
世帯要件	ひとり親家庭や生活保護世帯など経済的な理由や家庭環境等により、学習支援等を必要とする世帯、不登校児童生徒
実施形態	集合型
事業内容	① 宿題や復習を中心とした個別の学習支援活動 ② レクリエーション、歳時イベント等を通じ安心して過ごせる場所の提供 ③ 受験生に対しては受験対策を実施 ④ 食事や生活用品の支給や相談対応なども行います。
実施場所	社会福祉法人ほなみ会 サービスセンター南風 ※送迎あり
実施頻度	週 1 回（土曜日） 13:30～15:30 年 43 回
利用料徴収	なし
実施体制	受託事業
スタッフ	学習支援等ボランティア、新津地区民生委員児童委員、法人職員ほか
関係機関連携	主管：浜松市子育て支援課手当・助成グループ、 新津地区民生委員児童委員連絡協議会、新津地区社会福祉協議会、 浜松市社会福祉協議会、浜松市立新津小学校・中学校
事業費(令和 7 年度)	委託料：2,029,800 円（委託料 1,999 千円、単価契約分 30,800 円） （人件費、交通費(謝金)、教材費等）
事業担当	法人本部

□ 具体的な事業内容

（内容等）

1 回 2 時間の中で、学習に集中できない子どももいます。特に小学生は、休憩時間以降に折り紙やゲーム、タブレットなどへ気持ちが向く姿も見られますが、子どものペースを尊重しつつ、少なくとも前半は学習に取り組むよう促しています。

中学生については、原則として個室で学習できる環境を整え、静かで落ち着いた空間の中で学習できるよう配慮しています。そのため、中学生は休憩時間も自主的に学習を続ける様子が見られます。

学習の内容は、子どもたちが持参する宿題やプリント等を中心に進めていますが、寺子屋しんづで用意したワークやドリル、タブレットを活用した学習にも取り組んでいます。

また、中学3年生には県統一模試(県学力調査対策)の会場試験を2回受験できる機会を提供しています(うち1回は、市社協が取りまとめて実施する無料の会場試験)。令和7年度は受験する生徒はいませんでした。

利用料は徴収していませんが、毎回ちょっとしたおやつを提供しています。12月には別途お餅の支給も行いました。これらの費用は、委託料や善意の差し入れ等によって賄っています。

パワー浜松ロータリークラブ様からは、7月以降、生活(食料)支援として計5回にわたり菓子パン等をご提供いただきました。さらに、9月にはお米・レトルト食品、袋めんほか、3月はお米、ほか食料品、ペンケース等の学用品、子どもたちが喜ぶ雑貨類をいただきました。居場所事業として、9月には浜松科学館にご招待いただいたほか、12月にはプロのクラリネット奏者・スティールパン奏者によるクリスマスコンサートを企画・実施してくださいました。クリスマス会や3月の訪問日には子どもたちにケーキやお菓子のプレゼントもありました。

11月には倉松町松尾神社で行われた”焼き芋大会”に参加し、12月には地区社会福祉協議会の皆さまに干支の折り紙細工の指導をしていただきました。

令和8年3月から4月の春休み期間中に、『2026年春休み王将フードサービス「お子様弁」』の寄贈を受け、3世帯9名のお子さんに、5回に分けて計15食のお弁当を届けました。

送迎に関しては、会場が東西に長い新津地区の南側にあるため、また隣接する可美地区からも新津小学校・中学校に通う生徒がいることから、希望者には法人車両を使用し、無料で送迎を行っています。

□ 事業実施体制

従事者は次のとおり配置しています。

- ・ 本事業に関する統括責任者：1人
- ・ 会場管理者(民児協代表)：1人
- ・ 学習支援ボランティア：必要数
- ・ 学習支援補助員：必要数

統括責任者については非常勤職員を雇用し、教室開催時は現場に常駐して全体の状況を把握しながら教室の運営を行っています。(事務処理等については法人職員が当たっています。)

また、地区民児協から積極的な支援をいただくため、会場管理者(調整役)として代表者の方に参画いただいています。主任児童委員には、可能な範囲で参加していただいています。

学習支援は原則としてほぼマンツーマンで実施していますが、当日の学習支援等ボランティアの確保状況によっては、1対2で対応する場合もあります。

□ スタッフの確保・養成

地区民児協には、本事業に多大な協力をいただいています。学習支援等ボランティアや補助員としての参加に加え、地域の元教員等への参加の呼びかけなど、積極的に関わっていただいています。

また、将来の進路選択の参考としてもらうことを目的に、高校生の学習支援等ボランティア参加については、学校をとおして呼びかけを行っています。その中で、静岡県立浜松南高等学校1年生の時から学習支援等ボランティアに取り組み、令和8年3月卒業した1人の生徒さんにつきましては、浜松市「青少年の表彰」の候補者として推薦し、令和7年12月16日に浜松市長から「善行賞」の表彰を受けました。

学習支援等ボランティアの募集にあたっては、市社会福祉協議会、浜ボラ、新津地区自治会連合会(回覧板)の協力を得て行い、社会人や大学生、主婦など多様な立場の方が参加しています。

なお、学習支援等ボランティアについては、1回1,113円(税込み)を謝礼として設定し、12月と4月にまとめて支払っています。(交通費としての一律支給ができないため、謝礼としています。)

□ 対象者への参加呼びかけ

本事業は、浜松市の広報および社会福祉協議会を通した「はままつこどもの学習教室」として募集を行っています。その結果、新津地区外(篠原地区、白脇地区、入野地区、東伊場地区)からの参加者も得られています。

また、主任児童委員の協力のもと、地元浜松市立新津小学校・中学校の学校長やスクールソーシャルワーカー(SSW)への働きかけを行い、参加促進に努めています。

さらに、地域で活動する民生委員児童員が、担当区域内のひとり親世帯や生活保護世帯、就学援助世帯、外国ルーツの世帯、不登校のこどもがいる世帯などへの募集案内を行っています。

□ 事業の実績

本事業の対象となる登録人数は以下のとおりです。

令和7年度：22人(内辞退3人)

委託事業として見込まれた登録者数 15 人を上回っています。

令和 7 年度延べ利用者数は 459 人で、1 回あたり平均 10.6 人が利用しています。

令和 8 年 3 月時点の登録は 19 人（中 3 : 0 人(内辞退 1)、中 2 : 4 人、中 1 : 2 人、小 6 : 7 人、小 5 : 3 人(内辞退 1)、小 4 : 3 人(内辞退 1)、小 3 : 2 人）となっています。

また、学習支援等ボランティアは、58 人・延べ 408 人のご協力を受けています。

□ 事業の効果

継続的な学習支援等により、子どもたちの学習意欲は概ね向上しているように感じられます。

成長にもよりますが、以前は短時間で集中力が切れていた子どもも、落ち着いて勉強できるようになり、言葉遣いが丁寧になるなどの変化も感じます。

また、継続的な参加を通じて、学校や家庭だけでは得られない体験ができ、生活習慣や健康面にも少しく寄与しているのではと考えます。

□ 事業を実施する上で工夫している点

(学習支援等ボランティアへのお願い)

- 学習だけでなく、子どもたちが安心して話せる居場所となるよう、子どもの感情や雰囲気・気分持ちも含め、受け止める姿勢を大切にしてもらっています。
- 学習意欲が続かない子どもには、その子のペースで「できた」という経験を積み、自信に繋がるよう見守ることをお願いしています。
- 体験参加については、特性をつかみ孤立を防ぐため、元小学校教諭に個別対応をお願いし、全体化ができるように努めています。
- 本日の報告として、担当した子どもの「学習支援の内容(学習以外も含む)」、「気づいた点」を記録し、個別のファイルに綴ることで、継続性のある支援につなげています。

(送迎)

- 保護者が送り迎えできない場合には、法人のワゴン車等を使用して送迎をしています。

□ 事業を実施する上での課題

(学習支援等ボランティアの確保)

- 新たな学習支援等ボランティアの確保が課題です。特に、子どもたちのお兄さんお姉さん的な存在となる高校生・大学生の参加が望まれます。

(家庭支援の必要性)

- 参加者の中には、保護者への支援が必要な世帯もあり、子どもへの支援だけでなく家庭への支援も重要と考えています。

□ その他事項

(地域貢献としての位置づけ)

- 社会福祉法人として、民生委員児童委員と協働し、学習支援等を必要とする世帯に寄り添うことは、地域福祉の推進に新たな形を示すものであり、地域のニーズを地域で支え合う地域共生社会の実現に寄与するものと考えます。
- 学習支援等ボランティアが子どもたちにとって相談や雑談ができる身近な存在となることは、社会参加の機会を広げ、孤立しがちな子どもやその家族にとって大きな支えになると考えます。

子どもたちの中には、「あのお姉さんの学校(高等学校)に行きたい。」と話す子どももいます。

(寄付について)

- 令和7年7月 沢根スプリング株式会社様より、休憩時間に楽しめるよう「卓球台」等を頂きました。これをきっかけに、中学校で卓球部に入部した子どももいます。
- 令和8年3月 パワー浜松ロータリークラブ様より、「寺子屋しんづ」に次年度使用する教科書購入費用の寄附を頂きました。

令和7年度社会福祉法人ほなみ会施設事業報告

令和7年度は、多職種連携や個別ケアの推進により支援の質向上に向けた取組みは進めることができた。一方で、取組みの評価・改善まで至らず、職員間での実践のばらつきや統一した支援に課題が見られた。PDCA サイクルの定着には至らず、組織としての仕組み化が今後の課題である。

《重点項目》

◎PDCA サイクルを実践できる組織作り

- ・会議やモニタリングにより振り返りの機会は確保できた
- ・一方で評価・改善までつなげる取組みは不十分であった
- ・実践にばらつきがあり、組織的な定着には課題が残った

◎職員育成・教育のシステム化

- ・キャリアパスやチェックリストにより意識付けは図られた
- ・多職種での学びの機会は確保できた
- ・実践や評価に結びつける仕組みには課題が残った

◎組織力の強化

- ・多職種連携や基本的ケアの実践は進めることができた
- ・個別ケアの継続的な実施や情報共有に課題が見られた
- ・稼働率の安定確保に向けた取組みが必要である

	南風	短期入所	第二南風	花菜風
満床率	99.4%	77.9%	97.4%	99.4%
実満床率(入院等)	98.5%		96.9%	98.5%
取組み達成度平均	74.4% (昨年度比+16.2%)		61.3% (昨年度比-2.9%)	74.3% (昨年度比+9.5%)
苦情受付	1 件(昨年度比-6)		0 件(昨年度比-2)	0 件(昨年度比±0)
行政報告事故	7 件(昨年度比-3)		18 件(昨年度比+6)	4 件(昨年度比+3)

《専門職報告》

1.管理栄養士 達成率 80%

多職種と連携し、各施設においてミールラウンドを推進することができた。

2.歯科衛生士 達成率 85%

多職種で情報共有しケア変更に活かすことが出来た。

3.機能訓練指導員 達成率 100%

サービス担当者会議後、一体的計画書作成にあたり目標の相談を行い連携した。

4.相談員 達成率 85%

次期入居者の早期アセスメントと情報共有で空床短縮に努めたが、進捗確認までは徹底できなかった。

5.介護支援専門員 達成率 50%

個別ではなく施設単位の内容であったため、主任者会議にて LIFE フィードバックを共有した。

《全体行事》

行事名	内容
浜松まつり練り慰問	倉松の練り等の慰問
茶娘	職員が茶娘の衣装を着て新茶を振る舞う
カラオケ	3施設のカラオケの好きな入居者が集まり楽しむ
敬老会	職員による余興や敬老のお祝い品の贈呈
ガーデンパーク	3施設合同で外出
倉松町練り慰問	倉松町秋祭りの屋台、大太鼓、練りを見学
秋祭り	法人秋祭り。家族も参加しゲームや催し物、バザーを見学し地域との交流を楽しむ
クリスマスケーキ会	クリスマスケーキのデコレーションを楽しむ
初詣	3施設合同で希望者のみ
節分	豆まき、菓子撒きをする
花見ドライブ	3施設合同で実施

《研修》

種類	日時	内容	講師（発表者）
特養勉強会 (集合研修)	10月	接遇勉強会	接遇委員
	12月	ターミナルケア勉強会(実践報告)	介護職員
	2月	認知症研修	認知症実践者 研修受講者
	2月	多職種勉強会	機能訓練指導員 管理栄養士
学習発表会	1回目：7月	南風	介護職員
	2回目：11月	2階：よく寝てメリハリのある生活を送る	看護職員 相談員
	3回目：3月	3階：入居者一人一人に合わせたケアについて	管理栄養士 機能訓練指導員
		第二南風 2階：動き出しは本人からの実践 3階：5ステップを用いた入居者の生活サイクル確立 花菜風 家族と二人三脚で歩む	
キャリア研修	1年目研修	・入職時研修 ・プリセプター／自己チェック ・認知症ケア／記録(集合研修)	相談員 介護主任 他

	2.3 年目研修	・福祉職の心得／目標設定 ・認知症ケア ・ボディメカニクス	介護主任 リーダー 他
	4.5 年目研修	・自主性のある職員研修 ・計画立案／報告会	介護主任 リーダー 他

《実習・体験受け入れ》

1.介護福祉士単位実習

聖隷クリストファー大学	2 名	8 月 18 日～9 月 24 日
-------------	-----	-------------------

2.老年看護学実習

浜松市立看護専門学校	6 名	7 月 11 日～7 月 29 日
	6 名	8 月 28 日～9 月 12 日

3.職場体験・見学

浜松市立新津中学校	12 月 3 日～12 月 4 日
県社協主催『ふくしの仕事学び体験ツアー』	8 月 8 日
浜松市主催『はままつかいご探検隊』	10 月 4 日
天竜厚生会コラボ『親子施設見学会』	3 月 15 日

《苦情詳細》

1.南風

受付日	申立者	内容
7 月 8 日	親族	私物の紛失について何度か指摘し、謝罪はあるが改善しないことに対する苦情。

《事故行政報告》

1.南風

	事故内容	所見	状況	賠償保険
1	義歯破損	義歯破損	職員が洗面台に落として破損	賠償金
2	義歯破損	義歯破損	介助時に破損を発見	賠償金
3	不明	大腿骨骨折	発熱後患部痛の訴えあり	見舞金
4	転倒	大腿部頸部骨折	離床センサーで訪室すると、居室窓際に座り込んでいる	見舞金
5	転倒	打撲	廊下をシルバーカーで歩行中尻もち	見舞金

2.短期入所

	事故内容	所見	状況	賠償保険
1	転倒	大腿骨頸部骨折	トイレに行こうとして居室前の廊下で転倒	見舞金
2	転倒	大腿骨骨折	居室より大きな音がして訪室すると床に座り込んでいる	見舞金

3.第二南風

	事故内容	所見	状況	賠償保険
1	転倒	肋骨・大腿部骨折	居室トイレで排泄後転倒	見舞金
2	義歯破損	義歯破損	本人が外した義歯が床に落ちていることに気づかず、車いすで踏み破損	賠償金
3	不明	上腕骨折	離床介助時、強い痛みあり上腕の腫れを発見する	見舞金
4	義歯破損	義歯破損	介助中義歯が欠けているのに気づく	見舞金
5	転倒	肋骨骨折	居室でトイレに行こうとして転倒	なし
6	転倒	大転子部骨折	居室の扉辺りで転倒しているのを発見	見舞金
7	転倒	坐骨骨折	居室トイレ前で転倒しているのを発見	見舞金
8	転倒	上腕骨折	職員不在のリビングで転倒しているのを発見	見舞金
9	義歯破損	義歯破損	介助中義歯が破損に気づく	賠償金
10	不明	肘頭骨折	入浴のため脱衣すると、内出血と腫脹発見	見舞金
11	転倒	肋骨骨折	居室洗面所前で転倒	見舞金
12	転倒	上腕骨折	大きな荷物を持ち歩行中廊下で転倒	見舞金
13	不明	大転子部骨折	就寝介助時、歩行が不安定で本人より痛みの訴えあり	見舞金
14	転落	打撲	居室訪室すると車椅子より落ちている	見舞金
15	転落	肋骨骨折	職員不在のリビングで車椅子よりずり落ちているところを発見	見舞金
16	転倒	大転子部骨折	居室のトイレ前で転倒しているところを発見	見舞金
17	転倒	大転子部骨折	職員不在のリビングで転倒	見舞金
18	転倒	大転子部骨折	職員不在のリビングで転倒	見舞金

4.花菜風

	事故内容	所見	状況	賠償保険
1	誤薬	異常無	他入居者の内服薬を誤って内服介助	なし
2	転倒	腰椎骨折	早朝居室でカーテンを開けようとして転倒	見舞金
3	転倒	打撲	居室で床に落ちたティッシュを拾おうとして車椅子から転倒	なし

《地域活動及び外部連携事業》

地域活動や外部との連携は、施設長のみでなく多職種が参加して地域福祉の推進や、福祉の仕事人材確保に積極的に協力をしている。一年間の活動を報告する。

1. 静岡県事業

通年	介護の未来ナビゲーター	磐田北高、聖隷クリストファー大学等で活動
----	-------------	----------------------

2. 静岡県社会福祉協議会事業

7月15日	鹿島学園高等学校	セミナー
8月1日	県社協中間管理職研修	セミナー
8月23日	フェスタシズウェル	介護機器体験
9月20日	静岡県立大学短期大学部	オープンキャンパス
9月26日	浜松市立中ノ町小学校	セミナー
10月6日	浜松市立白脇小学校	セミナー
10月10日	磐田市立向陽中学校	介護体験・セミナー
10月30日	静岡女子高校	セミナー
11月4日	静岡県立大学短期大学部	ゲストスピーカー
11月11日	研修課人材育成研修	実践報告
11月27日	聖隷クリストファー大学	ゲストスピーカー

3. その他

5月16日	旧南区民児協	施設見学
5月23日	旧南区民生委員老人部会	施設見学
6月20日	特別養護老人ホームやすらぎの里	施設見学・意見交換
9月17日	特別養護老人ホーム高麓(焼津)	施設見学・意見交換
10月18日	社会福祉士会西部支部	セミナー
10月27日	富士河口湖町民生委員	施設見学
11月13日	静岡県立浜松西高等学校	キャリアセミナー
2月13日	磐田市豊田地区研修会	セミナー
2月27日	特別養護老人ホーム三九園(豊田市)	施設見学・意見交換
通年	静岡県老人福祉施設協議会	研究大会実行委員副委員長
通年	浜松市社会福祉施設協議会	監事
通年	静岡県個室ユニット型施設連絡会	理事

※各事業所詳細の事業報告は別紙参照

令和7年度特別養護老人ホーム南風事業報告

I.特別養護老人ホーム南風運営評価

入居者一人ひとりの能力に応じた自立支援を実践し、会議やモニタリングを通じて支援内容の見直しを行ったが、職員間で支援方法に差が見られた。

各ユニットにおいて、誕生日レクリエーション等の振り返りを次回へ活かす体制づくりを進めたが、実施内容や参加への働きかけにばらつきがあった。

1.介護職員

【なずな】達成率 75%

毎月の会議で議題にあげ、誕生日レクの予定の確認、報告、振り返りをおこなった。

【すずしろ】達成率 70%

3ヶ月に1度のサービス担当者会議にてモニタリングを行っていたが、12月から毎月モニタリングを行うようにした。

【なでしこ】達成率 50%

パーソンセンタードケアの理念であるその人らしさを大切に、職員それぞれが意見を出し合い積極的なコミュニケーションが出来たが、チームとして一つの方向に向かうことが出来ずまとまらない場面もあった。

【ききょう】達成率 50%

会議以外でもユニット職員同士で集まり、ケア検討が出来たが実践は職員によりばらつきが見られた。

2.看護職員 達成率 70%

医務室内での話し合いは回診前のカンファレンスや南風看護会議を開催し情報共有と連携ができたが、継続的な看護ケアができないことがあった。

II 短期入所生活介護

【年間稼働率】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
69%	62%	69%	86%	81%	76%	81%	72%	83%	78%	79%	74%

Ⅲ. 入居者の状況

1. 入退去状況

入退 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	2	0	1	0	1	0	1	2	0	2	1	1	11
退去	1	2	0	0	1	0	2	1	0	2	2	0	11

2. 退去理由

理由 性別	在宅復帰	要支援	介護保険施設	病院	死亡（病院）	死亡（南風）	計
男	0	0	0	0	0	1	1
女	0	0	0	0	1	9	10
計	0	0	0	0	1	10	11

3. 今年度入居者の入居前の状況

区分 性別	家庭	介護保険施設	福祉施設等	医療機関	計
男	3	0	0	0	3
女	6	0	0	2	8
計	9	0	0	2	11

4. 年齢別（令和8年3月31日現在）

年齢 性別	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳
男	0	1	0	2	0	1
女	1	0	2	3	7	10
計	1	1	2	5	7	11
年齢 性別	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	平均年齢	
男	2	2	1	9	88歳	
女	11	7	0	41	87歳	
計	13	9	1	50	87歳	

5. 要介護度別入居者数一覧及び要介護度

【実入居者数】 ※各月末実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7
要介護2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
要介護3	20	20	21	20	21	21	21	21	20	21	21	21	248
要介護4	16	16	16	17	16	16	16	17	18	17	16	16	197
要介護5	11	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	13	138
合計	50	49	50	50	51	50	49	50	50	50	49	50	597
平均介護度	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

【延入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	60	60	30	31	31	30	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	0	0	0	0	0
要介護3	572	620	621	620	637	630	651	630	620	608	586	651
要介護4	480	496	480	527	509	480	517	481	558	538	448	496
要介護5	330	341	330	341	341	330	342	360	372	392	351	341
合計	1472	1548	1491	1550	1549	1500	1540	1471	1550	1538	1385	1547
稼働率（%）	94	99	96	100	99	96	99	94	99	99	89	99

6. 入院状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	2	1	0	0	0	2	1	1	0	0	1
入院期間	10日未満	10～20日	21日～30日	30日以上	計							
人数	3	2	0	1	6							

※入院日及び退院日を含む

7. 外泊（延人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0

IV. 入居者の生活状況（令和8年3月31日現在）

1. 食事状況

性別	区分 自立 (見 守り含)	一部介助	全介助	経管栄養	計
男	8	1	0	0	9
女	22	7	11	1	41
計	30	8	11	1	50

2. 入浴状況

性別	区分 見守り/声かけ	一部介助	全介助	計	一般浴	中間浴	機械浴（寝浴）	計
男	0	8	1	9	1	8	0	9
女	0	27	14	41	2	28	11	41
計	0	35	15	50	3	36	11	50

3. 排泄状況

性別	区分 自立（排泄前後の確認含）	誘導介助	オムツ介助	計	夜のみオムツ	パルーンカテーテル
男	1	8	0	9	1	0
女	5	24	12	41	6	0
計	6	32	12	50	7	0

4. 移動状況

性別	区分 独歩（不安定含）	杖	車椅子	車椅子（介助）	シルバーカー	歩行器	計
男	1	0	6	1	1	0	9
女	6	0	6	22	6	1	41
計	7	0	12	23	7	1	50

5. 更衣状況

性別	区分 自立	指示・見守り	一部介助	全介助	計
男	0	1	8	0	9
女	2	5	18	16	41
計	2	6	26	16	50

V. 実施した行事等

【各ユニット別の行事・レクリエーション】

なずな	誕生レク・おやつ作り・家族会
すずしろ	誕生レク・おやつ作り・家族会
なでしこ	誕生レク・おやつ作り・家族会
ききょう	誕生レク・おやつ作り・家族会

VI. ヒヤリハット・事故報告

（事故）

1. 事故内訳

転倒・転落	35
薬剤	40
外傷	20
エスケープ	0
異食	1
誤飲	0
その他	18
合計	114

2. 所見

異常なし	48
創傷	26
打撲	1
内出血	14
骨折	0
その他	25
合計	114

3. 発生場所

居室	39
トイレ	10
リビング	53
廊下	2
浴室	10
その他	0
合計	114

令和7年度特別養護老人ホーム第二南風事業報告

I 【特別養護老人ホーム第二南風運営評価】

個別性を意識したレクリエーションや外出の機会は一部提供できたものの、計画的・継続的な個別レクリエーションやリハビリの実施は不十分であった。また、傾聴や寄り添いなど基本的な関わりは実施できたものの、困りごとの解決に結びつく具体的支援や統一した対応には課題が残った。さらに、掃除や整理整頓、役割分担の定着により環境整備への意識向上は図れたものの、入居者個々に適した設えまでには至らなかった。

1.介護職員

【あやめ】達成率 30%

利用者の「できること」を引き出す支援は実施できたが、PDCAに基づく毎月の振り返りの継続が不十分であった。

【さつき】達成率 40%

認知症の方に寄り添い傾聴することはできたが、困りごとへの具体的な支援や解決に結びつける関わりまでは至らなかった。

【つばき】達成率 70%

自己チェックリストの実施や掃除・整理整頓の役割分担、連絡ノートの継続により担当意識の向上は図れたが、個別性を踏まえた環境整備には至らなかった。

【かりん】達成率 50%

入居者それぞれの想いを担当者よりユニット会議で周知し実行することはできたが、評価・改善までには至らなかった。また、余暇活動については実施状況に差が見られた。

【かえで】達成率 40%

個別レクリエーションおよび個別リハビリの実施は十分とは言えなかったが、入居者の希望に沿ったレクリエーションや外出の機会を、回数は限られるものの提供することができた。

【ぼたん】達成率 55%

担当者を中心に個別ケア内容の立案および検討・修正を行うことができたが、周知が不十分であったため、ユニット職員不在時に実施できない場面が見られた。

【医務】達成率 50%

医務室利用者の増加を踏まえ計画立案は行えたが、入居者一人ひとりに寄り添った対応にばらつきがあり、記録の充実も十分ではなかった。

Ⅱ. 入居者の状況

1. 入退去状況

入退 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0	1	2	0	1	2	2	2	1	0	5	1	17
退去	0	2	1	1	0	3	2	1	1	4	2	2	19

2. 退去理由

性別 理由	在宅復帰	要支援	介護保険施設	病院	死亡（病院）	死亡（第二南風）	計
男	0	0	0	0	2	5	7
女	0	0	0	0	3	9	12
計	0	0	0	0	5	14	19

3. 今年度入居者の入居前の状況

性別 区分	家庭	介護保険施設	福祉施設等	医療機関	計
男	1	1	0	0	2
女	9	2	0	4	15
計	10	3	0	4	17

4. 年齢別（令和3年3月31日現在）

性別 年齢	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳
男	0	0	2	0	4	4
女	0	0	0	3	10	12
計	0	0	2	3	14	16
性別 年齢	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	平均年齢	
男	2	1	0	13	85歳5か月	
女	12	6	2	45	89歳7か月	
計	14	7	2	58	88歳7か月	

5. 要介護度別入居者数一覧及び要介護度

【実入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
要介護2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	3	22
要介護3	23	23	22	20	17	18	19	19	20	20	21	20	242
要介護4	22	23	23	24	26	26	24	25	24	23	24	23	287
要介護5	9	9	10	10	12	12	13	12	12	11	10	10	130
合計	60	61	61	60	61	62	61	61	61	60	61	60	729
平均介護度	3.5	3.5	3.5	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6

【延入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124
要介護2	90	62	60	62	62	32	31	30	31	62	56	93
要介護3	638	683	636	620	527	521	587	542	599	609	543	620
要介護4	630	693	671	744	766	740	744	740	744	692	614	674
要介護5	300	279	300	310	372	360	353	360	351	341	280	310
合計	1778	1841	1787	1860	1851	1773	1839	1792	1849	1828	1605	1821
稼働率（%）	97.9	97.9	99.3	100	99.5	98.5	98.9	99.6	99.4	98.3	95.5	97.9

6. 入院状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3	3	3	3	3	0	0	2	2	5	2	5
入院期間	10日未満	10～20日	21日～30日	30日以上	計							
人数	5	5	2	7	19							

※入院日及び退院日を含む

7. 外泊（延人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ. 入居者の生活状況（令和4年3月31日現在）

1. 食事状況

性別	区分	自立 (見守り会)	一部介助	全介助	経管栄養	計
男		10	1	2	0	13
女		32	4	7	1	44
計		42	5	9	1	57

2. 入浴状況

性別	区分	見守り/声かけ	一部介助	全介助	計	一般浴	中間浴	機械浴(寝浴)	計
男		1	5	7	13	2	9	2	13
女		1	20	23	44	6	31	7	44
計		2	25	30	57	8	40	9	57

3. 排泄状況

性別	区分	自立(排泄前後の確認)	誘導介助	オムツ介助	計	夜のみオムツ	パルーンカテーテル
男		1	10	2	13	7	1
女		3	33	8	44	8	0
計		4	43	10	57	15	1

4. 移動状況

性別	区分	独歩(不安定含)	杖	車椅子	車椅子(介助)	シルバーカー	歩行器	計
男		3	0	4	5	1	0	13
女		5	0	15	20	4	0	44
計		8	0	19	25	5	0	57

5. 更衣状況

性別	区分	自立	指示・見守り	一部介助	全介助	計
男		2	0	7	4	13
女		2	6	24	12	44
計		4	6	31	16	57

IV. 実施した行事等

行事名	月日	内容
天ぷらを嗜みましょう	6月19日	大会議室で2階3階合同で約20名が集まり、目の前でてんぷらを揚げてもらい、食事会をする
七夕飾り作り	6月～7月	七夕飾り作りや短冊に願い事を書き、笹へ飾る写真撮影をする
夏祭り	8月4日(3階) 8月6日(2階)	昼食にお好み焼きを作り、午後からカラオケ大会、魚釣り、輪投げ、ペットボトルボーリングを楽しむ
クラリネットアンサンブル会	10月8日	10月誕生日者+希望者を集め、クラリネット演奏会を行う
家族会(3階)	12月6日	カラオケ機器を活用した体操、カラオケ各ユニットにてクリスマスオーナメント作り
家族会(2階)	2月22日	ご家族とちぎり絵制作
お花見レク	3月12日(3階) 3月13日(2階)	お花の飾りつけをし、カラオケ大会

【各ユニット別の行事・レクリエーション】

つばき	誕生日レク(プレゼント、おやつ作り、外出)、おやつ作り、カラオケ、家族会
あやめ	誕生日レク(プレゼント)、風船バレー、カラオケ、家族会
さつき	誕生日レク(プレゼント、外出)、ユニット飾り作り、家族会
ぼたん	誕生日レク(プレゼント、おやつ作り)、おやつ作り、ユニット飾り作り、家族会
かりん	誕生日レク(プレゼント)、おやつ作り、ユニット飾り作り、家族会
かえで	誕生日レク(プレゼント、食事会、外出)、おやつ作り、カラオケ、家族会

V. ヒヤリハット・事故報告

1. 事故内訳

2. 所見

3. 発生場所

転倒・転落	39
薬剤	31
外傷	19
エスケープ	0
異食	2
誤飲	0
その他	11
合計	102

異常なし	45
創傷	23
打撲	14
内出血	8
骨折	4
その他	8
合計	102

居室	39
トイレ	7
リビング	41
廊下	1
浴室	6
その他	8
合計	102

令和7年度 特別養護老人ホーム花菜風 事業報告

I. 特別養護老人ホーム花菜風 運営評価

入居者に対する言葉遣い等の接遇面はチェックリスト実施で意識が高まったが、不適切なケアに対する認識は不十分で、職員間で指摘し合える環境は整備できなかった。

各入居者にニーズの確認を行い、ケアの内容を多職種で検討し、生活に反映する取り組みができた。

入居者家族との信頼関係を構築させるため、面会時のコミュニケーションや連絡ノート活用によって、職員と家族のやり取りが増え、情報共有に繋がった。

施設備品不具合の把握や報告が遅れたことで、対応の遅れに繋がった。

1.介護職員

【花水木】達成率 89%

1年を通して毎月ミニカンファレンス開催を計画し、8回開催することができた。

実施する中で、アセスメント力が付き、適切なケアを提案できるようになったが、評価実施までには至らなかった。

【花菱草】達成率 70%

定期的にケアを振り返ることはできたが、入居者の状態に応じたケアの変更に時間を要することがある。

【花菖蒲】達成率 30%

入居者のニーズの振り返りを行い実現できた部分もあったが、体調の変化によってニーズが変わった時の対応ができなかった。

2.看護職員 達成度 80%

面会に来られた家族への情報提供や多職種連携は実行できたが、連絡ノートは毎月記入を継続したものの対応が遅れがちになり、タイムリーさに欠けた。

Ⅱ. 入居者の状況

1. 入退去状況

入退	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4
退去	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4

2. 退去理由

理由	在宅復帰	要支援	介護保険施設	病院	死亡（病院）	死亡（南風）	計
男	0	0	0	0	0	2	2
女	0	0	0	0	0	2	2
計	0	0	0	0	0	4	4

3. 今年度入居者の入居前の状況

区分	家庭	介護保険施設	福祉施設等	医療機関	計
男	2	0	0	0	2
女	0	0	2	0	2
計	2	0	2	0	4

4. 年齢別（令和6年3月31日現在）

年齢	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳
男	0	0	0	1	3	0
女	0	0	1	3	3	6
計	0	0	1	4	6	6
年齢	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	平均年齢	
男	1	0	0	5	83.4	
女	6	5	0	24	88.3	
計	7	5	0	29	87.5	

5. 要介護度別入居者数一覧及び要介護度

【実入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	8	8	8	7	7	7	6	7	9	8	8	8	114
要介護4	13	14	14	14	14	14	15	13	13	13	13	13	136
要介護5	7	6	6	7	7	7	8	8	8	7	7	7	84
合計	29	29	29	29	29	29	30	29	31	29	29	29	346
平均介護度	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9

【延入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	240	248	240	217	217	210	186	210	212	248	224	248
要介護4	360	427	420	434	434	420	422	390	403	403	364	403
要介護5	210	186	180	217	217	210	248	240	228	217	196	217
合計	840	899	870	899	899	870	887	870	874	899	812	899
稼働率（%）	91.1	99.2	100	100	100	100	98.7	100	97.2	100	100	100

6. 入院状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1
入院期間	10日未満	10～20日	21日～30日	30日以上	計							
人数	0	1	2	1	5							

※入院日及び退院日を含む

7. 外泊(延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ. 入居者の生活状況（令和7年3月31日現在）

1. 食事状況

性別	区分 自立 (見守り会)	一部介助	全介助	経管栄養	計
男	1	2	1	1	5
女	6	12	5	1	24
計	7	14	6	2	29

2. 入浴状況

性別	区分 見守り/声かけ	一部介助	全介助	計	一般浴	中間浴	機械浴(寝浴)	計
男	0	2	3	5	0	2	3	5
女	2	12	10	24	2	13	9	24
計	2	14	13	29	2	15	12	29

3. 排泄状況

性別	区分 自立(確認含)	誘導介助	オムツ介助	計	夜のみオムツ	膀胱ろう	バルーンカテーテル
男	0	4	1	5	2	0	0
女	0	16	8	24	4	0	1
計	0	20	9	29	6	0	1

4. 移動状況

性別	区分 独歩(不安定含)	杖	車椅子	車椅子(介助)	シルバーカー	歩行器	計
男	0	0	1	3	1	0	5
女	3	0	3	14	4	0	24
計	3	0	4	17	5	0	29

5. 更衣状況

性別	区分 自立	指示・見守り	一部介助	全介助	計
男	0	0	3	2	5
女	0	2	14	8	24
計	0	2	17	10	29

Ⅳ. 実施した行事等

行事名	月日	内容
七夕	7月7日	短冊に願い事を書く。記念撮影。
納涼祭	8月21日	昼食：お好み焼き、フランクフルト、餃子、デザート 千本引き おみこし 分踊り
敬老会	9月17日	喜寿、米寿、卒寿、白寿、百寿のお祝い。
忘年会	12月20日	的当てゲームをして景品をプレゼントする。
湯月間	1月～2月	いつもと違う入浴剤を用意し、お湯に浸かる。
家族会	1月17日	入居者29名南風デイルームに集まる。職員・家族と一緒に絵馬の飾りを作り交流する。
新年会	1月29日	昼食：お寿司 おやつ：お汁粉 お参り・御神籤・千本引き・年男年女お祝い
節分	2月3日	職員が鬼に扮し、豆まきをする。

【各ユニット別の行事・レクリエーション】

花水木	誕生レク(ケーキ作り、外出、家族とお祝い、等)・おやつ作り
-----	-------------------------------

花菱草	誕生レク（プレゼントや色紙を渡す、ケーキ作り、買い物、外出、等）・おやつ作り
花菖蒲	誕生レク（プレゼントや色紙を渡す、ケーキ作り、外出、等）・おやつ作り

V. 花菜風運営推進会

月日	参加者	内容
5月15日、7月17日、 9月18日、11月20日 1月15日、3月19日	浜松市健康福祉部介護保険課職員 地域包括支援センター新津の職員 地域密着型介護老人福祉施設入所者 生活介護について知見を有する者 入居者、入居者家族、地域住民の代表者 事務局（施設長、生活相談員）	活動状況、入居者状況、入居申込 者 状況従業員の状況等の報告・ 評価、令和6年度事業報告、令和7 年度事業計画、意見、要望等。

VI. ヒヤリハット・事故報告

1. 事故内訳

転倒・転落	19
薬剤	14
外傷	26
エスケープ	3
異食	2
誤飲	1
その他	5
合計	70

2. 所見

異常なし	13
創傷	32
打撲	2
内出血	9
骨折	1
その他	13
合計	70

3. 発生場所

居室	29
トイレ	1
リビング	25
廊下	1
浴室	7
その他	7
合計	70

令和7年度 デイサービスセンター南風事業報告

1、事業規模

利用者人数について

令和7年度

	延人員	換算人員	月平均	営業日数	1日当り人数
4月	791	784. 25	784. 25	26	30. 4
5月	803	798. 75	791. 50	27	29. 7
6月	764	759. 00	780. 67	25	30. 6
7月	845	839. 50	795. 38	27	31. 3
8月	808	802. 00	796. 70	27	29. 9
9月	812	808. 50	798. 67	25	32. 5
10月	836	831. 50	803. 36	27	31. 0
11月	720	715. 25	792. 34	26	27. 7
12月	729	723. 50	784. 69	26	28. 0
1月	700	697. 75	776. 00	24	29. 2
2月	665	663. 25	765. 75	24	27. 7
3月	748	741. 25	763. 71	26	28. 8
合計	9221	9164. 50			30. 7

※換算人員：1日の利用時間が7時間以上の場合は1人と計上し、5時間以上～7時間未満の場合は0.75人、2時間以上～5時間未満の場合は0.5人と計上します。

令和7年4月から令和8年2月までの1月あたりの平均利用延人員が765人となりましたので、令和8年度も前年度に続き、事業所規模が750人から900人以下の大規模型事業所(Ⅰ)として営業していきます。

- ・新規利用者数 34人
- 終了者数 40人(一か月を超える利用中止も含む)

2、職員入退職について

入職 0名

退職 1名(介護職員)

3、日常活動の取り組みについて

少しでも長く在宅生活が続けられることを目的としたプログラム

<身体機能の機能訓練>

① 個別機能訓練

- ・転倒防止のための下肢筋力トレーニング
- ・関節可動域訓練

② 在宅生活継続訓練(立ち上がり動作・排泄動作・嚥下機能訓練)

<認知症リハビリ～認知機能の機能訓練～>

認知症の予防・進行防止・BPSD(認知症の周辺症状)の緩和を目的に実施

- ・音楽療法 月・火・金・土 AM
- ・回想法 水・金 PM
- ・芸術療法 火・木・土 PM
- ・園芸療法 月～土 AM ※天候や作物により変動あり。

- ・作業療法(書道・ペン習字)

書道 水・木 AM

ペン習字 月 PM

おやつレクを企画し皆でどら焼きづくりをおこないました。

- ・脳トレーニング

- ・買い物訓練(とくし丸) 火 PM

<クラブ活動>

- ・フラワーアレンジメント 月1回第2火曜日 AM

- ・生け花 令和7年度参加者なし

<その他の活動>

①「楽心出」(たのしんで)

- ・地域支援事業として介護予防のための運動を中心にした住民主体によるデイサービス
場所の提供・指導員の派遣

毎週 火・木・日 10時～11時30分 / 14時～15時30分

② 地域福祉活動への参加

銭太鼓サークルへの指導員の派遣(月2回)

③ ボランティア慰問

6/27 桜の会様

8/23 西伊場バラエティー座様

11/2 河合教室琴アンサンブル様(法人秋祭り)

倉松福寿会十六夜会様(銭太鼓:法人秋祭り)

4、デイ職員研修

<デイ会議内法人勉強会>

- ・入浴介助に関する研修

- ・LIFE フィードバック

- ・持ち上げない介護 スライディングボード

<外部研修 ※web 配信含む >

- ・介護福祉士実務者研修(通信)・・・高波

- ・接遇、マナー、コミュニケーション講座・・・谷山

- ・感染症講座(初級編)・・・加藤由美

- ・認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー・・・渡辺

- ・褥瘡予防の基本・・・望月

- ・身体拘束は廃止できます(録画)・・・谷山

- ・信頼関係を築くポイント講座・・・金田

- ・大人の発達障害・グレーゾーンの理解を深める(web)・・・夏目

- ・福祉サービス苦情解決研修会・・・兼古

- ・認知症サポーター講習・・・夏目

- ・「介護の日」啓発活動街頭キャンペーン・・・諏訪

- ・安全運転管理者講習・・・山口

- ・カスタマーハラスメントの理解と対策の必要性(web)・・・増井

- ・看護研修～緊急時に必要な医療ケアとは～・・・小野

- ・口腔のケア講座・・・杉浦

- ・せん妄・認知症対策研修・・・望月

5、その他の取り組み

通信文「認知症のお話」の継続

6、利用定員 40名

7、営業日・営業時間 月曜日～土曜日（日曜日は休業） 9:30～16:35

8、苦情・ヒヤリハット・事故報告

【苦情】 1件 「同じ質問をしてこないでほしい。情報共有についてどのようにされているのか知りたい」という内容のご指摘を手紙で受ける。その日のデイサービス帰りの送迎時に説明と謝罪する。手紙での返事も渡した。職員に再度申し送りをし、情報共有した。

【ヒヤリハット・事故報告 概要の報告】

ヒヤリハット 15件

事故 9件（外傷2、薬剤3、転倒3、介助ミス1：内、浜松市介護保険課に報告2件）

＜浜松市介護保険課報告事故＞

内容	詳細	対策・対応
外 傷	要支援モニタリング計測のための歩行テスト時に右足底部が床につまずき膝折れがあった。右大腿後面の痛みの訴えあり。自宅送迎後に本人が病院受診。ハムストリングスの筋挫傷と診断された。	つまずいた際に体を支えた為転倒は防げた。痛みの訴えあったため計測は中止し、自席までの移動は車椅子対応した。今後のモニタリング計測で歩行状態の評価方法を変更する。
転 倒	床に尻もちをつく。外傷確認し、仙骨部付近と左腰部に軽度発赤あり。ご家族報告後、受診し腰椎圧迫骨折と診断。	立ち上がるなどの動作開始時には、ご本人より職員へ声をかけていただく。移動時の付き添い・見守り。

令和 7 年度 第 2 デイサービスセンター南風 事業報告

1. 事業規模と利用者数について

以下の通り、令和 7 年度の平均利用延人員数（月）が 750 人を超え 900 人以内となりましたので、令和 8 年度の事業規模は通常規模型より大規模型 I となります。

	延人数	換算人員	月平均	提供日数	1 日当たり
4 月	735	733.50	733.50	26	28.3
5 月	795	794.25	763.88	27	29.4
6 月	776	775.25	767.67	25	31.0
7 月	868	866.75	792.44	27	32.1
8 月	819	818.25	797.60	26	31.5
9 月	826	822.25	801.71	26	31.8
10 月	911	910.25	817.21	27	33.7
11 月	852	848.50	821.13	25	34.1
12 月	906	903.25	830.25	26	34.8
1 月	875	871.00	834.33	24	36.5
2 月	812	808.25	831.95	25	32.5
3 月	868	860.25	834.31	27	32.1
合計	10,043	10011.75		311	32.3

事業規模区分

	平均利用延人員数（※）
通常規模型	750 人以内
<u>大規模型 I</u>	<u>750 人を超え 900 人以内</u>
大規模型 II	900 人を超える

（※）平均利用延人員数の算定方法—実人数に下表の数字を乗じた数

サービス提供時間	要介護の場合の乗数	事業対象者・要支援の場合の乗数
2 時間以上 3 時間未満	0.5	0.5
3 時間以上 5 時間未満	0.5	
5 時間以上 7 時間未満	0.75	0.75
7 時間以上 9 時間未満	1	1

2. サービスの質向上について

(1) ケア検討会の継続

ケア検討会を実施し、ケースを丁寧に把握しながら個別ケアの質向上を図ってきたが、従来の進め方では、1 ケースの検討時間がかかり業務負担が大きかった。

今年度からは、事前の意見聴取・会議当日の検討・次回会議でのモニタリングとフィードバックという流れに再構築し、持続可能な体制にブラッシュアップし、取扱いケース数を増やすことができた。

実施日	4/15	5/20	6/17	7/15	8/19	9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17	3/17
取 扱 ケ ー ス 数	4	4	1	1	3	2	6	4	2	4	0	3

※ 2 月にご利用者全員を対象に、「トロミの付け方」「食事の際のシーティング」「物理療法を振り分け方」について検討会を実施した。

(2) サービス提供プログラムの評価

地域の居宅介護支援事業所へのアンケートを実施（詳細結果については中間報告で報告済）。その結果を踏まえ、要介護利用者様の状態報告も定期的に実施することとした。

(3) 勉強会の実施

4 月 実施なし（会議で時間超過）

5 月 LIFE フィードバックデータについての勉強会

6 月 コーティングについて

7 月 言いにくいことを伝える技術～アサーティブ・コミュニケーションを学ぶ～

7 月 口腔ケアについて

8 月 入浴動作研修 新人介護職員向け介助のポイント

9 月 実施なし（会議で時間超過）

10 月 高齢者の転倒予防について

11 月 共感を得る「ことば」について

12 月 ガウンテクニクについて

1 月 利用者の身体観察のポイントについて

2 月 実施なし（会議で時間超過）

3 月 「演劇で学ぶエンパシー」について

(4) 事業所運営に掛かる事務業務の平準化

特に相談員業務の分担化を実施。残業時間の多い相談員業務を、今年度より正職員となった職員を中心に業務分化し負担軽減を実施。しかし、事業所全体の職員数が充足されていないため、残業時間の軽減までは至っていない。職員募集について今後も努力を継続していく。

3. 地域連携について

(1) 居宅介護支援事業所への訪問

ケアマネジャーへの毎月訪問に加え、アンケートを実施し業務改善済。

(2) 地域福祉活動への参加

アウトリーチ活動の一環として、周辺各町のサロンを通して、認知症予防や機能訓練等をテーマに出張講師を実施しました。目標としていた3回を上回り、5回実施することができました。

①4/19(土) 小沢渡西サロン 「コグニサイズ」

②5/17(日) 法枝町サロン 「デュアルタスクトレーニングと健康診断」

③11/15(土) 倉松町サロン 「焼き芋大会」

④12/10(水) 米津町サロン 「血管年齢測定と健康講座」

⑤1/18(日) 倉松町サロン 「頭と身体の健康講座」

4. ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット 26 件（転倒転落 11 件・配膳トロミ付け関係 11 件・薬返却忘れ 3 件）
事故 13 件（転倒転落 6 件・薬返却忘れ 3 件・在宅酸素関係 2 件・爪切り等介助 2 件）
行政報告 2 件

①機能訓練指導員による 5 メートル歩行計測。肉離れ。

②送迎時、車両ステップに足をぶつけ受傷。受診結果骨折なし。

5. 苦情 1 件

・送迎車の進路妨害となっていた路上駐車車両にクラクションを鳴らし苦情となった。路上駐車車両は、調子が悪くなった家族の緊急対応をしていたとのこと。「5 回もクラクションを鳴らされて近所にも迷惑がかかった。運転手に指導してほしい。」との 内容。※中間報告で報告済。

指定居宅介護支援事業所 南風 事業報告

1. 稼働率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護請求	241 件	243 件	238 件	239 件	248 件	253 件
予 防 費 (支援)	42 名 (14 件)	42 名 (14 件)	41 名 (13 件)	44 名 (14 件)	44 名 (14 件)	47 名 (15 件)
予防費(A プラン)	40 名 (13 件)	42 名 (14 件)	45 名 (15 件)	45 名 (15 件)	46 名 (15 件)	49 名 (16 件)
予防費(B プラン)	1 名(0.3 件)	1 名(0.3 件)	1 名 (0.3 件)	1 名 (0.3 件)	1 名 (0.3 件)	1 名 (0.3 件)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護請求	252 件	257 件	256 件	254 件	251 件	252 件
予 防 費 (支援)	47 名 (15.6 件)	50 名 (16.6 件)	46 名(15.3 件)	50 名(16.6 件)	49 名(16.3 件)	53 名(17.6 件)
予防費(A プラン)	50 名 (16.6 件)	52 名 (17.3 件)	51 名 (17 件)	52 名(17.3 件)	51 名 (17 件)	52 名(17.3 件)
予防費(B プラン)	1 名(0.3 件)	1 名 (0.3 件)	1 名 (0.3 件)	1 名 (0.3 件)	1 名 (0.3 件)	1 名 (0.3 件)

※介護は 1 名 1 件、予防は 3 名で 1 件での請求計算となる。

2. 事故・苦情報告

苦情：3 件 担当ケアマネが話を聞いてくれないと。担当変更依頼あり。

担当者変更し、支援継続している。

3 月より、面接技術、コミュニケーションについての勉強会を居宅会議の中で実施するようにしている。

3. 事業計画振り返り

① 月 1 回ケアマネジメントに沿った事例検討会を実施は継続できている。できる

だけ、適切なケアマネジメント手法に沿った振り返りを行ない、不足している
アセスメントを再度検討できるように実施したが、適切なケアマネジメント手
法の活用ができていないため、来年度は適切なケアマネジメント手法の活用が
できるようにしていく。

また、包括三和とも事例検討会を実施することができた。今後も継続できれば
と思っている。

- ② 南行政研修会や演習事業に年1回は参加をし、居宅会議で共有することができ
ている。他の研修会への参加が少ないため、来年度は研修参加の見える化を行
ない、目的をもって参加できるようにしていく。

- ③ 地域活動については、今後もバザールの継続を行なっていく。

4. 職員入退職について

4月より2名新人ケアマネが入り、プリセプターをつけて育成し、1年継続し新規利用
者も問題なく受けることができるようになった。

3月末で1名退職にあたり、移行もスムーズにできた。来年度は、5月に非常勤職員が
1名正規職員になる。

5. その他

7年ぶりの運営指導があり、必要な書類など再確認ができた。今後は、チェックシート
などを活用し、一連の流れができるように継続していく。

①担当圏域の概要 (R6.10.1 時点)

地区名	年齢構成				高齢者の内訳	
	人口	0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	高齢化率	前期高齢者 後期高齢者
飯田地区	12,434 人	1,432 人	7,730 人	3,272 人	26.3%	1,440 人 1,832 人
白脇地区	22,056 人	2,822 人	13,428 人	5,806 人	26.3%	2,574 人 3,232 人
	34,490 人	4,254 人	21,158 人	9,078 人	26.3%	4,014 人 5,064 人

＜圏域の特徴＞

浜松市の高齢化率は、令和 6 年 10 月現在で 28.9%であり、地域包括支援センター三和(以下、当センター)の担当圏域である飯田・白脇地区の高齢化率は 26.3%である。昨年と比較すると、浜松市全体と飯田・白脇地区ともに 0.3%の上昇となっている。圏域の特徴として、高齢化率が 20%前後の町がある一方で、高齢化率が 40%近い町があり、白脇地区では国道 1 号線の南北、飯田地区では国道 1 号線の東西で大別することができる。生産年齢人口(15 歳～64 歳)が多い町の周辺には、スーパー等の商業施設が充実しており、食料品や生活用品等の生活必需品の購入に困ることは少ない。一方で、生産年齢人口が少ない町の周辺には、商業施設が少なく、個人商店等の廃業により、食料品や日用品の確保が課題となっており、食料品については移動販売の利用者が増えている。日用品については、親族や知人等の力を借りているものが多い。また、白脇地区では建物の老朽化と空き家増加への対応として、中田島団地集約事業が進められており、地域社会の再編が課題といえる。

介護保険サービスでは、多くのサービスにおいて、圏域住民のニーズに応えるだけの事業所とサービス量が充足しているといえるが、介護人材の不足と多様化するニーズを背景に、訪問介護の調整が難航することがある。そして、それらを調整するケアマネジャーの不足は顕著であり、以前から要支援者を担当するケアマネジャーの選定に難航していたが、要介護者においても時間を要するようになってきている。

令和 6 年度に地域包括支援センター新津と協力して、新津地区・白脇地区において、地域の『困りごと』の把握を目的に『敬老会アンケート』を実施した。敬老会の参加対象となる 77 歳以上の方に対して行い、白脇地区では対象者 2,651 件、回答者数 1,402 件、回答率 52.9%であった。困りごとの内容として、草取り 23.8%、交通に関すること 22.0%、通院 17.8%、買い物 15.9%、ごみ出し 9.0%の結果となった。介護保険制度や高齢者福祉施策だけで対応することは難しいため、これらの課題に対して地域住民等による活動や民間事業者の参入を視野に入れた地域づくりが課題といえる。

＜把握している地域課題＞

- ・飯田地区では地域での家事支援の仕組みが構築されておらず、ごみ出しなどの局所的なニーズに対して支援の選択肢が少ない。インフォーマルなサービスとして、地域に則した家事支援の創出が必要となっている。また、既存サービスを把握できていない住民があり、それらの周知が必要である。
- ・公共交通機関の利便性の悪さから、通院や買物、地域活動に参加できない高齢者がいる。それらの社会参加を推進するインフォーマルな仕組みの創出が必要となっている。
- ・介護サービスを利用したい高齢者に対応できるケアマネジャーが不足しており、以前からも介護予防支援においてケアマネジャーの選定が難航していたが、要介護においても時間を要するようになっている。ケアマネジャー調整難航時には、迅速なサービス利用に至らないことがある。

②重点目標

・地域ケア会議を有効活用して、自立支援・重度化防止の視点で多職種が協力して課題解決を目指し、高齢者等への自立・重度化防止に繋げる。また、既存のネットワークで対応できないケースは、重層的支援体制整備事業を活用して対応する。 ・安心して暮らせる地域を目指し、生活支援体制づくり協議体の活動と連動及び地域ケア会議を活用して、社会資源の周知・創出を目指す。 ・アウトリーチ活動として、地区社協や地区民児協、サロンやシニアクラブ等の地域団体に積極的なアプローチを行う。また、それら諸団体と地域の介護支援専門員を繋ぐ活動を実施する。 ・サロンやシニアクラブ等の地域団体のほか、教育機関や企業において、認知症施策の推進や介護予防の重要性について啓発を行う。 ・認知症ひとり歩き模擬訓練事業の南エリアの主担当として、幅広い層を対象に理解促進や啓発活動を行い、見守り支援体制づくりを推進する。 ・対象者が『老いへの備え』を意識化できるように、専門講師等の協力を得ながら、家族介護支援事業等を開催する。特に、認知症の方やその家族が集える家族会等の開催に注力する。 ・ニューズレターの定期発行及び家族介護支援事業の周知活動を通じて、医療機関や金融機関、商業施設等との関係づくりを行う。
--

③実施計画（活動内容）

業務名	実施計画	実施計画に対する達成状況
総合相談支援	① 『〇〇歳全戸訪問』を軸にしたアウトリーチ活動を行う。また、時代に則した訪問方法や対象年齢の在り方を検討する。	① 「白協地区の75歳全戸訪問」を目標に掲げ、したが、訪問する時間がつくれず、未達成。次年度は、民生委員児童委員連絡協議会と連携し、訪問対象者を絞って包括の周知を行う。
	② 公的な施設だけでなく、地域の店舗（金融機関・スーパー等）と調整して出張相談を行う。	② 「ちよこつと相談（1か所）」と「いきがい相談（2か月に1回）」を行ったが、いきがい相談は相談者が少ないため令和7年度で終了とする。金融機関やスーパーでの出張相談は未実施。アルツハイマー月間にふれあい交流センター青龍にて出張相談所を設け、複数名の利用があった。
	③ 「断らない総合相談窓口」「適切に繋ぐ相談窓口」を目指し、多くの職種や機関との連携を強化する。方法として、『みなみクラブ』『重層的支援体制整備事業』等において、それらとの連携促進を図る。	③ 「みなみクラブ」は、南エリア地域包括支援センター（新津・芳川）と合同開催にて、集合形式で10回開催し、多機関多職種との連携を図った。また、SNSを活用して周知を行うことで、ケアマネジャーを含めて、参加者が増加した。
	④ 地区社協や地区民協との顔の見える関係構築を促進し、また、サロンやシニアクラブ等の地域の各団体及び医療機関や介護サービス事業者からの協力依頼に柔軟な対応をすることで関係性をつくり、地域に根付いた総合相談を行う。	④ 地区社協や地区民協の定例会に参加し、包括業務の事例報告を通じて関係構築を行った。
	⑤ ホームページ、ブログの更新頻度を維持し、介護者世代への周知を図る。また、他のSNSの活用を検討する。	
	⑥ タブレットを活用し、画像や動画などを用い	

	て、わかりやすく、想像がしやすい、情報提供をする。また、遠方の関係者にはWEBを活用して相談に応じる。 ※①②③④⑤を行うことで地域への周知活動や啓発活動を行うとともに、ネットワークを構築し潜在ニーズの早期発見・早期対応を目指す。 ⑦ 毎日の始業時に業務の進捗状況の確認と情報の共有化を行うとともに、センター内ミーティングを月2回実施し、事業計画の進捗状況の確認、企画立案等を協働で行い、チーム力向上を目指す。 ⑧ 初回面接や初回訪問は複数の職員で対応し、より良い初動対応を行う。	シニアクラブやサロン等の地域団体への協力16件行った。 ⑤ 介護者世代や地域住民等への周知を目的に、ブログの更新を計34回実施した。また、ブログに限らず、SNSの活用について検討を行った。 ⑥ タブレットやPC、プロジェクターを用いてわかりやすく、想像がしやすい、情報提供を行った。 テレビ電話を利用しての相談対応が2件あった。また、遠方に在住する親族等とのメールでのやりとりは増加している。 ⑦ 月2回のミーティングを定期開催し、予定の確認や活動の進捗状況の報告、研修報告、事業計画の立案等を協働で行った。また、毎日の朝礼等で情報共有を行い、支援が停滞することが無いように配慮した。 ⑧ 初回相談は、職員2名で対応し、複数の視点から支援方法を検討した。
権利擁護	① 初回面接は複数の職員で対応するとともに、行政等の複数機関で支援を行い、適切な支援を目指す。 ② 権利擁護の中核機関と連携する。また、専門機関に依頼ができないケースについて、年3件程度を目標とし、直接支援を行う。 ③ 受任者不在の場合は、浜松市権利擁護センター等と連携して受任者の調整を行う。 ④ 社会福祉協議会と連携をし、日常生活自立支援事業の情報提供、利用の支援を行う。 ⑤ 虐待防止マニュアルに沿って、関係機関と連携して適切に対応する。 ⑥ ケースの内容に応じて、成年後見制度や身元保証を取り扱う団体等と連携する。 ⑦ 成年後見制度や詐欺等消費者被害等の周知を、	① 職員2名で対応し誤謬を防ぐとともに、成年後見制度の申立てについては、行政や弁護士事務所、司法書士事務所等と協力して支援を行うことができた。 ② 成年後見制度の直接支援件数は2件。権利擁護センターと相談して対応した。 ③ 浜松市権利擁護センターの受任者調整会議やバックアップ相談会などを活用した。 ④ 日常生活自立支援事業の利用開始ケース11件。社会福祉協議会と連携して情報提供をした。 ⑤ 通報があった場合は、センター内で情報整理・アセスメントを実施した上で、行政や関係機関と連携して適切に対応した。 ⑥ ケースの内容に応じて、浜松成年後見センタ

	家族介護支援事業の開催やシニアクラブ・サロン活動への協力を通して啓発活動を行う。 ⑧ 南エリア地域包括支援センター（新津、芳川）と協働で、社会福祉士が主体となり、介護支援専門員などに対して、権利擁護の研修会を開催する。 ⑨ 介護サービス事業所等において、権利擁護に関わる研修を担当する。	一等の団体と連携をした。 ⑦ 成年後見制度や詐欺等消費者被害の周知は、シニアクラブやサロン活動等を通じて12回実施した。 ⑧ 南エリア地域包括支援センター（新津、芳川）、聖隷クリストファー大学野田教授を講師に招き、「虐待」について研修会を開催した。 ⑨ 他法人の特別養護老人ホームにおいて、権利擁護に関する研修を担当した。
包括的・継続的ケアマネジメント支援	① ケアマネ情報交換会「フレッシュ三和クラブ」を定期開催し、運営においては地域の主任介護支援専門員に協力を得る。 ② 地区社協や地区民協、サロンやシニアクラブ等の活動に、地域の介護支援専門員と参加する。 ③ 南エリア地域包括支援センター（新津、芳川）と地域の介護支援専門員が協働で、「社会資源リスト」の維持管理をする。 ④ 演習・研修について、地域包括支援センターが調整役を担い、主任介護支援専門員と協働で企画・運営する。 ⑤ 病院職員との交流会を企画・運営する	① 「フレッシュ三和クラブ」を集合形式にて6回開催した。ケアマネジャー業務の悩みのほか、在宅連携センターの職員を講師に招き、知識の習得を行った。 ② 8月白脇民児協、2月飯田地区民児協と地域活動するケアマネジャーと合同研修会(圏域ケア会議)を開催した。 ③ 南エリア地域包括支援センター(新津、芳川)及び地域のケアマネジャーと協働で「社会資源リスト」の維持管理を行った。 ④ 南エリア地域包括支援センター(新津・芳川)と協働で、「やってくるんですよね。ケアマネさん〜遠方家族の利用者支援どうしていますか〜」「医師と連携をとろう。認知症支援。」「カスハラは怖くない！対応のプロを目指そう！」をテーマにして、演習・研修を実施した。また、浜松市介護支援専門員連絡協議会南支部主催の「事例検討会」の開催に協力した。 ⑤ 病院職員や訪問看護、ケアマネジャーを対象に1回開催した。 ※南エリア地域包括支援センター（新津、芳川）と連携して、居宅介護支援事業所管理者を対象に意見交換会を開催し、情報の共有と繋がりを

		強化を図った。	① 初回相談は、職員2名で対応し、複数の視点から支援方法を検討して、対応した。 ② 対象者の希望等を確認し、複数の職員で支援方法を検討し、対象者が選択できるように支援に必要なサービスを複数提示した。 ③ 職員ひとりあたり、平均10.4件（介護予防支援・ケアマネジメントA）を担当した。 ④ 介護支援専門員と支援困難ケースについて情報共有を行い、後方支援を行った。
介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)	① より適切なアセスメントを実施するため初回面接や初回訪問は複数の職員で対応する。 ② 対象者自らがサービスの選択をできるように、心身の状況に応じたサービスの複数提示する。 ③ 指定介護予防支援事業のプランを含め、職員1人当たり20件以下とする。 ④ 再委託先の居宅介護支援事業所の介護支援専門員と情報共有を行い、支援困難なケースは協力して対応する。	① 浜松市医師会との合同研修会は、南エリア地域包括支援センター（新津、芳川）と浜松市介護支援専門員連絡協議会南支部が協働で開催する。 ② 歯科医師会との合同研修会は、南エリア地域包括支援センター（新津、芳川）と行政担当課が協働で開催する。 ③ 多職種連携情報交換会「みなみクラブ」は、新規参加者が増えるように呼びかけの対象を拡大し、より多くの機関との顔の見える連携づくりを目指す。 ④ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をテーマとして、家族介護支援事業や講話活動を行う。また、専門職に対して、研修会等を開催する。	① 浜松市医師会主催の研修『災害時における医療と介護の連携 パート2』（主担当：芳川）の開催について、南エリア地域包括支援センター（新津、芳川）と浜松市介護支援専門員連絡協議会と協働して行った。 ② 未実施。 ③ みなみクラブは、南エリア地域包括支援センター（新津・芳川）と合同開催にて、集合形式にて10回開催し、多機関多職種との連携を図った。 ④ 浜松市医師会の市民向けACP（アドバンス・ケア・プランニング）講座を担当。地区社協等にて、「もしバナゲーム」を活用して、参加者の理解を深めた。
在宅医療・介護連携推進			
生活支援・介護予防事業推進のための基盤整備	① 生活支援体制協議体や地域ケア会議（圏域）を通して、『高齢になっても暮らしやすい地域』に資する社会資源の創出について検討する。 ② 介護支援専門員等の地域で活動する専門職を協議体に繋げる。 ③ 「きらきらクラブ」「さんさんクラブ」は、活動の継続と参加者による主体的な運営がされるように後方支援をする。 ④ ロコモ指導員やいきいきトレナーの資格を	① 白脇地区・飯田地区ともに新たな社会資源の創出は至らなかったものの、白脇地区では中学生を巻き込んだ地域活動について、飯田地区では既存の社会資源の把握に主眼を置いた検討ができ、次年度に繋がる活動になった。 ② 協議テーマの変更により、地域で活動する専門職を協議体に繋げる機会がなかった。 ③ 「きらきらクラブ」「さんさんクラブ」は、	

	活かし、地域の各サロンへの出張教室を開催する。 ⑤ ロコトレ普及員交流会を開催し、ロコトレグループの質の向上を図る。 ⑥ 地域のサロン活動等に付属していないロコトレサロンへ出向き、交流を深めるとともに、適宜指導や助言等行う。	代表者の変更があったが、活動が滞らないように後方支援をした。また、「深層筋体操クラブ」には、定例会に参加をし、活動支援をした。 ④ 地域のシニアクラブやサロン等において、「健康講座＋体操等」をテーマに活動した。また、市からの専門職の派遣や地域の病院の協力を得て活動をした。 ⑤ 南エリア地域包括支援センター合同で、「ロコモスデッアップ研修」を開催できた。 ⑥ 依頼に基づいて指導した。
認知症施策の推進	① 認知症サポーター養成講座は、小中学校・高校や一般企業、地域のサロン等へ呼びかけを行い、企画分と依頼分併せて、年3回の実施を目指す。 ② 認知症初期集中支援チームの活用目標を年3件とする。 ③ 地域の介護支援専門員や信用金庫等の協力を得て、オレンジシールを利用している本人やその家族の交流会を開催する。年2回目標。 ④ オレンジシール登録者の現況確認を年2回の頻度で行う。 ⑤ アルツハイマー月間に、金融機関や商業施設等と連携して、認知症についての掲示、店内にブースを設置して周知活動を行う。 ⑥ 認知症ひとり歩き模擬訓練事業の南エリアの主担当包括として、ひとり歩き高齢者への声掛け訓練を行い、地域への理解促進と啓発活動をする。	① 認知症サポーター養成講座は計6回実施(企画5件)。キャラバンメイトとの合同開催の他、新規に浜松市立飯田小4年生を対象に実施した。 ② 活用実績1件。 ③ 家族介護者交流事業として、オレンジシール利用者やその家族等を対象とした交流会を計2回実施した。運営には地域の介護支援専門員の協力を得た。 ④ 現況確認を半年に1回の頻度で実施(新規登録者は初回は3か月後)。 ⑤ 浜松磐田信用金庫三和支店、三島支店やふれあい交流センター青龍で啓発物の掲示を行った。 ⑥ 主担当として、認知症ひとり歩き(徘徊)模擬訓練を飯田地区で実施をした。 2/4 認知症勉強会 56名参加。 3/4 訓練本番 65名参加。
地域見守り支援	① 『はままつしあんしんネットワーク』の構成員を対象に認知症サポーター養成講座を行い、認知症に関する理解促進を図る。	① キャラバンメイトの協力を得て、福祉用具貸与会社を対象に認知所サポーター養成講座を実施した。

	② 認知症ひとり歩き模擬訓練事業の南エリアの 主担当包括として、ひとり歩き高齢者への声掛け訓練を行い、地域への理解促進と啓発活動をする。 ③ 圏域小中学校（白脇小学校、飯田小学校、東部中学校、南部中学校、）その他近隣の高校（浜松修学舎高校）にて、認知症や地域の見守りについて講座を行えるように、学校と調整する。	② 主担当をしたて、認知症ひとり歩き（徘徊） 模擬訓練を実施した。 ③ 浜松市立白脇小学校 4 年生、浜松市立飯田小学校 4 年生を対象に認知症サポーター養成講座を実施した。
地域ケア会議（多職種協働による地域包括支援ネットワーク）	① 多職種連携情報交換会「みなみクラブ」を継続し、今後も連携強化を図る。 ※ 参加者の意見を聞き取り、年間予定を作成する。 ② 個別ケース地域ケア会議を繰り返し行い、共通する課題を見出し、研修等につなげていく。 ③ 地域の介護支援専門員等と協力して、民児協の研修会を企画・運営し、地域課題を把握し、地域課題解決のためのケア会議で協議する。 ④ 『ネットワーク会議』を継続開催し、各機関との連携の強化を目指す。 ⑤ 『重層的生活支援体制整備事業』を活用し、各機関との連携した支援を目指す。	① 「みなみクラブ」は、南エリア地域包括支援センター（新津・芳川）と合同開催にて、集合形式で 10 回開催し、多機関多職種との連携を図った。 ② ケア会議 10 件実施。 ○ 個別ケア会議 6 件。 ・複合的な課題を抱える世帯の支援について 3 件。 ・身寄りのない方で複合的な課題を抱える本人への支援について 2 件。 ・高頻度でひとり歩きをする高齢者の支援について 1 件。 ○ 圏域ケア会議 4 件 ・白脇地区民生委員とケアマネジャーの役割や業務内部を互いに理解することで、連携力を高めて適切な支援に繋げる。 ・認知症とともに暮らしやすい「南のまちに」！ ・地域に住む高齢者の生活課題を考える意見交換会。 ・飯田地区民生委員とケアマネジャーの役割や業務内部を互いに理解することで、連携力を高めて適切な支援に繋げる。 ③ 飯田地区民生委員、白脇地区民生委員とのケア会議にて、ケアマネジャーと内容を検討し

		て開催した。 ④ 「みなみネットワーク会議」が企画・開催した。 ⑤ 『重層的生活支援体制整備事業』を特化した支援ではないが、各種機関と連携を取り、支援を行った。
指定介護予防支援	① より適切なアセスメントを実施するため、初回面接や初回訪問は複数の職員で対応する。 ② 対象者自らサービスの選択をできるように、心身の状況に応じたサービスを複数提示する。 ③ 介護予防ケアマネジメントのプランを含め、職員1人当たり20件以下とする。 ④ 再委託先の居宅介護支援事業所のケアマネジャーと情報共有を行い、支援困難なケースは協力して対応する。	① 初回相談は、職員2名で対応し、複数の視点から支援方法を検討して、対応をした。 ② 対象者の希望等を確認し、複数の職員で支援方法を検討し、対象者が選択できるように、支援に必要なサービスを複数提示した。 ③ 職員ひとりあたり、平均10.4件（介護予防支援・ケアマネジメントA）を担当した。 ④ 介護支援専門員と支援困難ケースについて情報共有を行い、後方支援を行った。
その他	① センター内ミーティング等で業務内容の評価を行い、改善案に取り組み、評価を行い、定着を図る。 ② 社会福祉士養成課程（聖隷クリストファー大学・静岡福祉大学等）、在宅看護実習（浜松市立専門学校等）の実習生を受け入れる。	① 月2回のミーティングにて業務内容の評価及びヒヤリハットの振り返りを行い、業務改善に努めた。 ※ 苦情件数1件（職員の対応について） ※ 事故報告2件（個人情報の管理について） ② 社会福祉士養成課程（聖隷クリストファー大学1名・静岡福祉大学2名）、在宅看護実習（浜松市立専門学校1年生4名、3年生6名）の実習生を受け入れた。 ※その他 ◎令和7年度職員の異動及び入退職 ・職員の異動なし ・令和8年3月31日付で保健師1名退職。

事業報告の附属明細書

令和 7 年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成しない。

社会福祉法人ほなみ会